

計画の名称	国境の島対馬を保全するため、空港・港湾を拠点とする広域的なアクセス向上を図る道づくり												
計画の期間	平成30年度 ～ 平成34年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	対馬市												
計画の目標	離島空港・港湾を拠点に広域的なアクセス強化を図ることで、集落の災害などにおける緊急輸送時の安全確保を促進するとともに、島外からの交流人口拡大を支援し、地域生活環境の改善並びに地域経済の底上げに繋げ、更には、国境の島である地域の保全に努める。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	8,194	A	8,194	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30末	H32末	H34末
1	離島空港・港湾へアクセスする道路の整備を行い、発生する交通事故発生件数を現在の53件からH34までに50件以下にする。 評価時点の交通事故発生件数を調査し、全発生件数に占める割合を算出する。 (対馬市の交通事故発生件数減少率) = (評価時点の交通事故発生件数 - H30の交通事故発生件数) / (H30の交通事故発生件数) (%)	0%	2%	5%
2	対馬市を訪れる観光客数を現在の598,000人からH34までに628,000人にする。 対馬市の年間観光客数を調査する。 (対馬市の観光客増加率) = (評価時点の観光客数 - H30の観光客数) / (H30の観光客数) (%)	0%	2%	5%
3	集落から対馬病院への時間短縮を図る。 道路改良前と改良後の所要時間比を算出する。 (1 - (Σ事業後所要時間 / Σ事業前所要時間)) × 100 (%)	0%	1%	3%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	H32	H33	H34				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	離島	対馬市	直接	対馬市	市町村道	改築	(1)久田日掛線・佐須工区	現道拡幅 L=2.18km	対馬市	■	■				322		—	
	A01-002	道路	離島	対馬市	直接	対馬市	市町村道	改築	(1)仁田志多留線・伊奈・犬ヶ浦・越高工区	現道拡幅 L=2.33km	対馬市	■	■	■	■	■	551		—	
	A01-003	道路	離島	対馬市	直接	対馬市	市町村道	改築	(1)尾浦浅藻線・安伸工区	バイパス L=2.3km	対馬市	■	■	■	■	■	3,473		—	
	A01-004	道路	離島	対馬市	直接	対馬市	市町村道	改築	(1)堂坂線・舟志工区	バイパス L=4.13km	対馬市	■	■	■	■	■	3,200		—	
	A01-005	道路	離島	対馬市	直接	対馬市	市町村道	改築	(他)内山2号線・内山工区	バイパス L=1.3km	対馬市	■	■				282		—	
	A01-006	道路	離島	対馬市	直接	対馬市	市町村道	改築	(他)鰐浦落土線・鰐浦工区	小規模改良 L=0.46km	対馬市	■	■	■	■		366		—	
											小計						8,194			

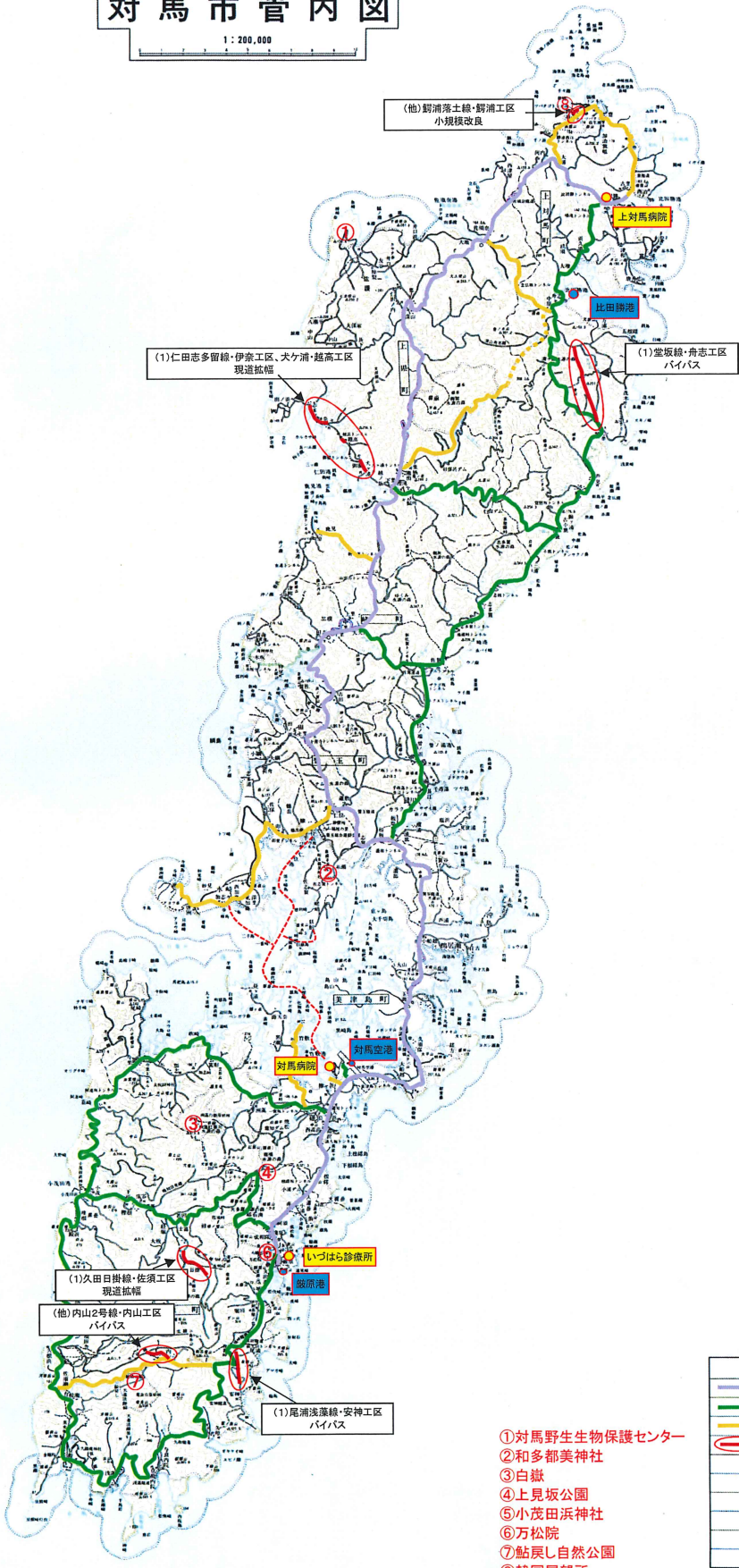
A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計					8,194			

計画の名称	国境の島対馬を保全するため、空港・港湾を拠点とする広域的なアクセス向上を図る道づくり		
計画の期間	平成30年度～平成34年度(5年間)	交付対象	対馬市



対馬市管内図

1 : 200,000



(1) 仁志多留線・伊奈工区、犬ヶ浦・越高工区
現道拡幅

(他) 駒浦落土線・駒浦工区
小規模改良

(1) 堂板線・舟志工区
バイパス

(1) 久田日掛線・佐須工区
現道拡幅

(他) 内山2号線・内山工区
バイパス

(1) 尾浦浅瀬線・安神工区
バイパス

凡	例
	国道
	主要地方道
	一般県道
	改築

- ① 対馬野生生物保護センター
- ② 和多都美神社
- ③ 白嶽
- ④ 上見坂公園
- ⑤ 小茂田浜神社
- ⑥ 万松院
- ⑦ 点戻し自然公園
- ⑧ 韓国展望所

この図面は、国土交通省九州地方整備局、対馬支庁建設課の提供によるもので、権利関係は各関係機関に帰属するものとします。

社会資本整備総合交付金チェックシート

社交金:P35

国境の島対馬を保全するため、空港・港湾を拠点とする広域的なアクセス向上を図る道づくり

市区町村名:対馬市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
3)緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
4)数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標と事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
②事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○